

3 子どもの発達段階に応じた 家庭教育支援者からのメッセージ

情報誌作成委員会で作された、家庭教育支援者からのメッセージです。子育てには失敗がつきものですが、皆さんが心がけていることはありますか。

～就学前

- 子どもとの心のつながり、スキンシップ
- かけがえのない子どもとの時間
- 子どもの成長に大切なことは、親の笑顔
- 一緒につき合いたい、子どもの関心事



小学校低学年～中学年

- まだまだ子どもに必要な、スキンシップ
- 続けていきたい、読み聞かせタイム
- じっくり育てたい、思いやりの気持ち
- 一緒にすると楽しめる、家事



小学校高学年～中学校

- 引き続き必要な、さりげなくほめること
- 子どもの拠り所、親の「話を常に聴ける状態」
⇒ 子どもが困ったとき、頼れるように
- この時期の親への反抗は、子どもの成長過程と認識
- 子どもの落ち着きにつながる、冷静に向き合うこと
- 叱るときには忘れたくない、子どもの逃げ道（厳しさだけにしない）



宇都宮市教育委員会教育長から保護者の皆様へのメッセージ

近年、核家族化や少子化の進行、個人主義の浸透など子どもを取り巻く社会環境は急激に変化し、家庭教育の重要性はより一層高まってきております。子育てには厳しい状況が続いておりますが、このような中、保護者の皆様は、日々お子さんと真剣に向き合っていることと思います。さて、家庭教育で意識したいことの一つに、社会を生き抜くための「社会性」を身につけさせることがあります。もちろん学校や保育園、幼稚園で学ぶことでもありますが、各家庭におきまして、子どもをたくましく育てるため、子どもにいろいろな経験をさせ、もし失敗しそうになっても先回りをせず見守り、そして子どもが行き詰ったらそっと支援の手を差し伸べていく必要があります。そうすることで、子どもの自主性・主体性などが身についていくものと考えております。教育は長い目で見るのが大切です。また、人間関係の大切さを、親が良い手本となり、身をもって子どもに伝えられると良いと思います。

教育委員会は「皆さんと共に歩む教育委員会」として、家庭教育支援に積極的に取り組むとともに、学校や地域関係機関などと連携を図りながら、あらゆる機会を捉え、効果的な支援を実施してまいりますので、保護者の皆様には親学や家庭教育講座等にも積極的に参加していただくなど、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

